

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶でのひら



vol. 226通信
R元年6月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！
 <<利用状況案内板 (★募集中★満員)>>
 ☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
5	4	4	4	3	7

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 17名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 10名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ★ナイス・キッズ (学童保育・託児)

《6月行事予定》
 10日 外食DAY
 20日 避難訓練
 21日 救命救急講習
 25日 救命救急講習
 29日 誕生日会

※中旬：あじさい寺

《不定期行事》
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《教室案内》

・和太鼓 休止中
 ・コーラス 水曜日(月2回)
 場所：喫茶でのひら
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
 ※各教室月謝制で、定員あり。

詳細はお問い合わせ下さい。

“介護職員・看護師”募集！！
 介護の資格がない…週3回くらいなら仕事ができる…夜(夜勤)だけなら家を空けられる…介護業務に興味のある方・今なら仕事をする時間がある方！！在宅での看護に興味のある方…是非、一緒に働きませんか。
 身近に仕事を探している方や転職を迷っている方をご存知の方、『募集しているところがあるよ！』と声を掛けてみてください。
 どんな様子か知りたい方は事前見学OKです。又は“サポート・ワン・サービス”とネットで検索してください。毎月更新しているホームページで日々の様子を知っていただくことができます。
 詳細は気軽にお問い合わせください。
 TEL 0567-26-3921 (担当:飯尾、田口)

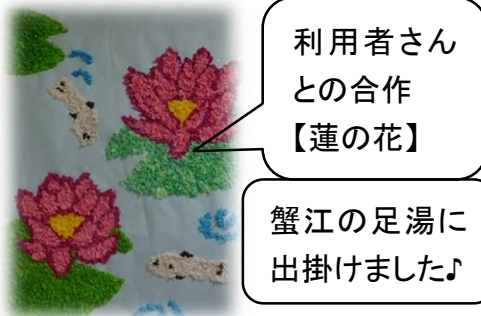
褥瘡／看護師

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)というものをご存知だろうか？医療や介護を必要とする高齢者の方が、自宅など親しみ深い環境で療養し、自分らしい生活を続けられるよう、在宅医療や介護サービスなど、関係機関の切れ目のない連携を実現するために設置された。

そこで“褥瘡ケアサポートチーム”というものが立ち上がっているようだ。医師や薬剤師、訪問看護師、排泄ケア認定看護師、管理栄養士、ケアマネージャー、介護サービス提供者等がメンバーに含まれるらしい。おそらく対象者に合わせたメンバーを構成し、訪問されるのだろう。

愛宕の家入居者さんのおしりに褥瘡ができた。みるみる悪くなる。おしりは尿や便で汚れることが多く、湿った状態が長いことで皮膚が弱くなっている。体格がよく、おしりへの負担が大きい。弱っている皮膚に車いすへ移る度に衝撃を与えている。この前の採血で栄養状態が悪かった…褥瘡になる要素たくさん。病院であれば、褥瘡処置に必要な物が揃い、おそらく使いたいだけ使えるだろう。私も値段なんて気にせずに使っていた病棟看護師時代がある。在宅ではそういうわけにもいかない。限られた知識と費用、介護保険の限度額、物品など、可能なことの範囲を見極める。介護保険サービス(訪問介護・福祉用具)の見直し、介護技術の見直し、今の褥瘡に必要な材料の見極め。褥瘡を治すため、色々な軟膏、被覆材をどう活用するか、医師と薬剤師に相談しながら一人現場でおしりとにらめっこ。お蔭さまで褥瘡は完治。そして新たな褥瘡を発生させないために生活の見直しをしている。

褥瘡ケアサポートチーム。褥瘡が出来ないようにすることが大前提だけれど、もし困ったら心強い存在になってくれることを期待している。(M・T)



利用者さんとの合作【蓮の花】

蟹江の足湯に出掛けました♪

求められる判断能力／ナイス・ホーム

2人暮らしのご夫婦がナイス・ホームに登録されました。認知症の疑いのある奥様は、ご主人の言葉があれば、食事や洗濯等の家事ができていたようです。あまり動けないご主人は奥様の助けがあって、生活ができていたという状況で、ご夫婦のバランスが保たれていたように感じていました。

体に触ることを嫌がるけれど明らかに身体的な介護が必要なご主人と“夫の事は自分が面倒見ているから大丈夫”という気持ちの強い奥様にヘルパーを受け入れてもらうこと、そしてお二人の生活を支えるために小規模多機能の“訪問”“通い”“泊まり”をどういった形にするか考える為の訪問が始まりました。同時に医療面の強化をする必要があるため訪問看護も念頭に置いていました。

その直後、ご主人の状態がみるみる悪化。少しでも改善するのではないかと“通い”と1泊の“泊まり”を利用されましたが、自宅での最期を希望されたため、話し合いの下、早急に自宅での受け入れ体制を見直しました。

結果、小規模多機能の制度ではなく、居宅ケアマネージャー・福祉用具・訪問医師・訪問看護・訪問介護に依頼し、サービスの立て直しを行いました。

ナイス・ホームのケアマネとしてサービスの立て直しと移行にほととしたのも数時間。ご主人は息を引き取られました。

色々なサービスがある中で、どのサービス(制度)の利用がその人や取り巻く人に必要なかを常に考える必要があることを再認識させてもらったケースだったと思います。小規模多機能の制度を勧められたから…がきっかけで始まることが多い中で、面談しながら、関わりを持ちながら、常に柔軟にサービス(制度)の提案(変更)ができる自分でありたいと強く思いました。

今回、急な依頼にも関わらず対応してくださった皆様には本当に感謝致します。(Y・O)



介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況

《段位取得者》 1～6期生(12名)
 《申請中》 8期生(1名)
 《評価中》 10期生(3名)



社内研修風景
今回は『個人情報について』



天王川の藤まつり

状態変化に伴う関わりの提案を訪問介護から発信したい／ナイス・ケア
 デイサービスと訪問介護を利用して見えるAさん。90歳を過ぎても、室内はワゴンを押してゆっくり歩き、物忘れの症状はあるものの、トイレもご自分で行かれ、気になる所はほうきを持ってヘルパーと一緒に床掃除。洗濯物をたたんだり、洗い物もしてみえました。ところが、病気と高齢と言うこともあって体調を崩され、突然歩けなくなってしまいました。移動は車いすになり、トイレにもお手伝いが必要な状態。
 いつもご家族は、ご本人の状態や薬の事、意向等を分かりやすくヘルパーに書面で知らせてくださっています。今回もご家族から、『寝たきりにさせたくない、夜間のトイレに困るからポータブルトイレを置いた』と、意向と困っていることを示してくださいました。そこで、どんな方法なら意向に添えるのか、どんな制度を利用すれば少しでも解消できるのかをカンファレンスで話し合いました。『訪問回数を増やしてポータブルで排泄のお手伝いをさせてもらうのはどうか？』『ポータブルトイレの処理は？移乗は？計画書のサービス内容も変更してもらう必要があるかもね』『夜間のみ家政婦さんを利用してもらうことは？』等などの意見が出ました。
 ご本人や介護をされるご家族の意向に沿う事を念頭に置きながら、サポート・ワン・サービスとしてナイス・ケアとして考えられる提案をきちんとケアマネージャーに繋ぎたいと思います。
 関わらせて頂いている利用者さんが、その人らしく、自宅での生活を継続するための選択肢が広がるよう、広い視野から物事を考え、訪問介護事業所として提案していけるよう、今後も考え続けていきたいと思っています。(K・N)

《編集後記》

梅雨入りしましたね。身体のだるさが気になる季節です。そんな時は、梅干(クエン酸)や玄米や豚肉(ビタミンB1)などを積極的に摂ると良いらしいです。毎日の食事にちょっとした意識を加えて、“梅雨ダル”を予防し、猛暑に耐えられる身体作りの準備をしていきたいなあと思っています。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
 6月の発送部数 105部